

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第28回定例会(令和元年6月定例会)

第28回定例会	2	議員活動報告	10
一般質問(5人)	5	編集後記	10

議会広報
令和元年7月
第32号



第28回定例会閉会後の懇親会にて
5期20年にわたり、町政運営のかじ取りを
務めた三浦正名前五戸町長を囲んで、
五戸町議会議員一同、心から敬意を
表するとともに、その労をねぎらいました。

第28回 令和元年6月 定例会

6月11日から14日までの4日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 20件			
原案可決	同意	承認	認定
5件	1件	14件	0件

第28回定例会初日の令和元年6月11日に、欠員となっていた議長の選挙、補欠選挙において当選された議員の議席の指定及び常任委員の選任が行われました。

議長就任のあいさつ



議長 大沢 博

時代は平成から令和へ、そして三浦町長から若宮町長へとバトンタッチが行われるこの時期に、前和田議長の在任期間とはいえ、議長に選任していただき、この職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今、五戸町におきましては、人口減少対策、議会改革など重要な課題が山積しており、五戸町議会の役割は、町行政における最高議決機関として、町民の皆様の多様な意見を反映し、積極的な議論を経て、民意を集約することが求められています。

五戸町議会は、町民の代表としてその負託と信頼に応え、実行力のある議会を目指して、町民目線で全力をつくし取り組んでまいります。

新議員紹介

議席番号 3番



相内 樹里

当選1回 38歳

民生常任委員会 委員

議席番号 4番



柏田 匡智

当選1回 42歳

経済常任委員会 委員
広報常任委員会 委員

任期は、令和元年6月2日から令和2年2月28日までです。

町長提出案件

報告 1件

1 一般会計繰越明許費繰越計算書

平成30年度内に完了が見込めないため翌年度に繰り越しするもの

認定こども園等施設整備事業

1億2541万4千円
消防団救助能力向上資機材緊急整備事業

262万7千円
管内小学校エアコン設置事業

7692万9千円
管内中学校エアコン設置事業

3612万7千円
(報告は採決しません)



専決処分の承認 14件

条例の一部改正 3件

1 五戸町町税条例の一部改正

・特例控除額の措置対象を特例控除対象寄付金とするなど地方税法の一部改正に伴うもの

2 五戸町国民健康保険税条例の一部改正

・基礎課税額に係る課税限度の引き上げなどの地方税法の一部改正に伴うもの

3 五戸町介護保険条例の一部改正

・低所得者の保険料の軽減強化のため、介護保険法施行令の一部改正に伴うもの

補正予算 8件

1 平成30年度一般会計補正予算(第7号)

・補正額(減額)
△1億7634万3千円
・予算総額
93億3965万円

主な歳入増額

・町税

1700万円

・地方譲与税

1297万円

・地方消費税交付金

7419万円

・自動車取得税交付金

1288万円

・地方交付税

8194万円

主な歳入減額

・国庫支出金

△7682万円

・県支出金

△3210万円

・繰入金

△1億7642万円

・町債

△8620万円

主な歳出増額

・財政調整基金積立金

1億5023万2千円

主な歳出減額

・町有林育成業務委託料

△317万2千円

・五戸町若者定住支援事業補助金

△303万3千円

・重度心身障がい者医療費・更生医療給付費

△910万5千円

△1420万2千円

・放課後児童クラブ支援員賃金

△300万円

・子どものための教育・保育給付費

△4541万4千円

・病院事業会計健診業務負担金

△2000万円

・妊婦・乳児委託健康診査業務委託料

△440万円

・乳幼児医療費給付費

△670万円

・農業次世代人材投資資金

△538万7千円

・融資主体型補助金

△2462万円

・経営体育成基盤整備事業費負担金

△547万円

・農地整備事業費負担金

△2710万7千円

・特別保証制度保証料補助金

△622万8千円

・除雪作業業務委託料

△910万5千円

・除雪機械借上料

△2357万2千円

・町道路路改良工事費

△1349万9千円

・用地測量業務委託料

△1413万7千円

・橋梁補修測量調査設計業務委託料

△1293万9千円



△288万1千円

・臨時財政対策債償還利子

△105万7千円

・一時借入金償還利子

△200万円

・平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

補正額(減額)

△486万5千円

・予算総額

4億5762万3千円

・平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

補正額(減額)

△3880万8千円

・予算総額

22億9633万2千円

・平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)

補正額(減額)

△571万円

・予算総額

3億8240万7千円

・平成30年度農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第3号)

補正額(減額)

△30万円

・予算総額

1億1044万7千円

・平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

補正額(減額)

△299万6千円

・予算総額

9153万6千円

・平成30年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(減額)

△87万6千円

・予算総額

2983万1千円

条例の一部改正 2件

①五戸町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

・過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴うもの

②五戸町承認地域経済率引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

・固定資産税の特別措置に関する条例の基本計画の同意の期限延長に伴い条例の一部改正するもの



国民健康保険 五戸総合病院

補正予算 1件

①平成31年度一般会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

555万4千円

・予算総額

88億1106万3千円

主な歳入増額

・社会福祉センター整備

のための過疎対策事業債等

560万円

主な歳出増額

・社会福祉センター高架水槽改修工事費

682万6千円

主な歳出減額

・高架水槽改修工事設計業務委託料

△127万2千円

審議の結果

全員賛成で承認

専決処分の承認とは

議会が議決をしなればならない条例・予算などについて、時間的に議会の開催を待てない緊急の場合もあります。そのような時に町長が議会に代わって決断することを専決処分といいます。ただし次の議会で承認を得ないといけません。(専決処分が無効になることはありません)

条例の一部改正 1件

①五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正

【内容】

・五戸総合病院に勤務する看護師で、日本看護協会が認定する看護師に対して、認定看護師手当を支給するための改正

補正予算 3件

①一般会計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

2297万円

・予算総額(補正後)

88億3403万3千円

【主な内容】

・橋梁補修測量調査設計業務委託料

・管内中学校施設改修工事費

・ひばり野スポーツ交流センターレストラン等改修工事費

・レストラン備品購入費

これらの財源は、国庫補助金、基金繰入金及び町債を充当



ひばり野スポーツ交流センター

②介護保険特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

194万6千円

・予算総額

24億1141万8千円

【主な内容】

・臨時職員賃金を追加するもので、支払基金交付金等を充当

③ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

29万3千円

・予算総額

3071万9千円

【主な内容】

・ケーブルテレビ文字放送に係る修繕料を追加するもので、繰入金を充当

審議の結果

全員賛成で可決

町長提出案件追加

人事 1件

①人権擁護委員の推薦

◎倉橋 隆穂 氏(64歳)

字中道



主な職歴

五戸町職員

福祉保健課長

農林課長

総務課長

総務課参事

博労町自治会長

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件 1件

①「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の提出について

【内容】

・現行の「過疎地域自立

促進特別措置法」が、令和3年3月末に失効を迎えることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化するよう、国へ新たな過疎対策法の制定を要望するもの

審議の結果

全員賛成で可決

陳情 1件

①最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

継続審査



一般質問



鈴木 隆也 議員

◆生徒数が減少する中、これからの中学校における部活動の在り方は

教育長 中学校の統廃合まで視野に入れて考えなければならない

質問①

中学校の部活動において、個人競技を中心に多様なスポーツに取り組みたいという需要が高まっている。

新たな部活動の創設は可能か。

答 柳町教育長

可能である。しかし、教育現場での働き方改革を進める上で、教職員の負担増は避けなければならない。

地域性なども考慮し、新たな部活動の創設は学校長の判断に委ねる。教育委員会としても最大限の協力をする。

質問②

中学校の部活動において生徒数の減少により、団体競技を中心に運営が困難になったり、競技の多様性が無くなったりしている。

これからの部活動の在り方をどのように考えているか。

答 柳町教育長

やりたい競技に取り組めない現在の状況は、教育上望ましくない。生徒数の減少は少なからず進むことは明らかで

◆スポーツにおいて高いレベルを目指す子どもたちに経済的支援を

教育長 現状では難しい

質問①

レスリングの太田忍選手は自己の努力により大成し、我々五戸町民に大きな感動を与えてくれた。その太田忍選手を支えたご家族には相当な経済的負担があったとのこと。このことをどう思うか。

答 柳町教育長

太田選手には私も多くの感動をもらった。また、ご家族のご苦労も承知している。今、同じようなご苦労をされている方がいることも把握している。

あり、部活動に限らず、教育の質を維持するため

に、中学校の統廃合まで考える時期に来ていると思う。

質問②

「教育の町・五戸」を掲げる以上、独自の施策を打ち出すべきと考える。スポーツにおいて高いレベルを目指す子どもたちに、交通費の一部助成などの経済的支援をする枠組みを整備しては。

答 柳町教育長

現在も一定の成果を収めた児童生徒には助成金を支給している。ただ、それ以上のことは現状では難しく、動向を注視し必要な場合は検討したい。

◆小中学校の植栽管理の主体は

教育長 管理主体は教育委員会
管理者は学校長

質問①

小中学校における植栽管理の責任の所在は。また、もっと環境美化に努めるべきでは。

答 柳町教育長

管理主体は教育委員会、管理者は学校長である。

情報を共有し、限られた予算の中で進めている。今後も保護者や地域の方に協力を得ながら、よりよい教育環境を目指す。

◆地域学の重要性は

教育長 郷土愛を育むためにも大変重要だ

質問①

地域学の重要性と今後の進め方は。

答 柳町教育長

地域のことを学ぶことは、地域の一員であることに自覚を持たせるとともに、郷土愛を育むため

に大変重要だ。

ただ、学習指導要領の改正に伴い、それに割く時間が一段と制限される。

教職員の指導力の向上を図るとともに、現行の内容を検証し、質の高い地域学を展開したい。

6月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



とよた たかお
豊田 孝夫 議員

◆投票区、投票所の見直し後に行われた選挙から見えてきた課題は

金澤選挙管理委員長
投票しやすい環境づくりが必要

質問①
投票区、投票所の見直し後に行われた各選挙の前回と今回の投票率について伺いたい。

答 金澤選挙管理委員長
実績は左の表のとおり。

選挙名	前回	今回	増減率
県議会議員選挙	54.86%	52.65%	△2.21%
県知事選挙	69.82%	65.22%	△4.6%
町長選挙	69.68%	65.07%	△4.61%
町議会議員補欠選挙		65.05%	

質問②
投票区の区割りが比較的広範囲となった12、14、15区の投票率は、統合前と比較していかがであったか。

答 金澤選挙管理委員長
実績は左の表のとおり。

投票区(投票所)	前回	今回	増減率
12区(浅田支所)	60.37%	51.48%	△8.89%
14区(倉石支所)	49.45%	43.88%	△5.57%
15区(倉石温泉)	60.08%	54.51%	△5.57%

3つの投票区ともに低下しているが、期日前投票の数字が含まれていない事を考慮して頂きたい。

質問③
統合となった区域の交通手段を巡回バスで対応した結果は。

また、バス以外の交通手段は考えていないのか。

答 金澤選挙管理委員長
4月の選挙では、31名の6月の選挙では、30名が利用した。バス以外の交通手段としてタクシー等も考えられるが、費用の面で難しい。

質問④
期日前投票所の見直しを行った結果、有権者の投票行動に変化はみられたか。

答 金澤選挙管理委員長
6月の選挙では、期日前の投票率が、約4%増えており、期日前投票の理解度が高まっている。

質問⑤
投票区、投票所の見直しを行い、見えてきた課題は。

答 金澤選挙管理委員長
バリアフリー化や車いす利用者専用の記載台の設置が必要である。今後の課題としたい。

◆農業振興に係る農道や水路整備・補修等に配慮した生産対策は

町長 農道整備については順調に推移している

質問①
農道整備・補修及び水路整備・補修の申請と進捗状況は。

答 三浦町長
野焼きは、原則禁止されているが、農業による野焼きには特例がある。焼却する量や風向きなど周りに迷惑をかけないよう配慮していただきたい。

答 三浦町長
県営事業の園芸試験場線は、約半分の用地買収が終了し、倉石北線の保全整備事業は、約4割が完了している。また、単独事業では、45団体から申請があり、原材料等を支給している。

質問③
GAP(農業生産工程管理)認証取得の推進は。

答 三浦町長
研修などは行われているが、認証には至っていない。相談があれば、関係機関と協議して検討していく。

質問②
田んぼの草刈りや果樹剪定後に排出される枝などの処理で焼却が問題視されているが対策は何か。

にすべきか。

一般質問



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

質問①

まちづくり団体に助成金を支給する民間団体のガイドブック「助成団体要覧」という本がある。これには、助成金の金額や条件、申し込み先等が掲載されている。五戸町の財政は、今後も厳しくなることが予想されるため、自治会や他のまちづくり団体は、この要覧に基づき、自主的に助成金の申請を行い、町としては、助成団体の紹介などの補助をしていくことが必要ではないかと考える。

まずは、「助成団体要覧」を購入することを提案する。また、五戸町住

◆「助成団体要覧」を活用してはどうか

町長 活用して橋渡し役をしていく

民協議会を利用するのが良いと考えているが、その協議会はどのようなになっているか。

答三浦町長

ご提案のとおり、「助成団体要覧」に掲載されている助成団体の紹介を町が行い、自治会や他のまちづくり団体がそれを活用し、自主的に助成金の申請を行うことは必要であると考えている。町でのガイドブックを購入し、町の各団体の行動の手助けにつなげていきたい。五戸町住民協議会については、「このへみらい会議」を各所で7回開催したが、参加人数が少なく、住民協議会の機能に有する体制づくりまでには至っていない。

◆五戸町の落差工、合同墓、地消地産条例、手話条例の進展は

町長 住民ニーズをふまえ、前向きに検討している

質問①

以前、五戸川の落差工、合同墓、地消地産条例、手話条例について一般質問し、県に陳情を求め、もしくは検討すると答弁したが、その後どうなったか。

答三浦町長

五戸川の落差工については、県に事情を説明したところ、落差工によって魚類などの遡上にどのような影響を及ぼしているのか調査するとの回答を得た。地消地産条例については、アンケート調査によると、52%の方が地元食材を学校給食に取り入れるべきと回答している。このような住民ニーズの結果をふまえ、合同墓、手話条例についても前向きに検討していく。

◆町議会議員補欠選挙のポスター掲示場追加の経緯は

金澤選挙管理委員長

立候補予定者が7名であると判断したため

質問①

6月2日に行われた町議会議員補欠選挙における選挙ポスター掲示場の追加したにもかかわらず、立候補したのは3人のみであったのはなぜか。これらの経緯と今後の対策は。

答金澤選挙管理委員長

4月22日の立候補予定者説明会には、3名の陣営の出席であったため、6区画で十分であると判断した。候補しなかったが、氏名等や立候補しなかった理由については、プライバシーの保護や理由を把握していないため、お答えできない。

ところが、5月16日までに、立候補に必要な書類を7名が受領しに来たため、急遽追加した。結果として、4名は立

今後の対策としては、その都度、状況に応じて対処せざるを得ないものであると考えている。



まつやま やすはる
松山 泰治 議員

◆スポーツ基金を設立し、スポーツクラブを自主運営できるようにしては

教育長 財政的に自立しながら自主運営することは至難の業

質問①

町民一人ひとりがスポーツを楽しみ、心豊かに暮らせる町づくりと、日本を代表する選手を育成する環境づくりのため、スポーツ振興公社にスポーツ基金を設立し、スポーツクラブを自主運営できるようにしてはどうか。

答 柳町教育長

スポーツクラブの現状は、外部のボランティア指導者によって成り立っている。指導は週1回程度で、大会の参加が無く、引率の負担が少ないため維持することができている。

しかし、今後ボランティア指導者の確保が困難になることが予想される。

そこで、ある程度収入が得られるように、将来スポーツクラブの法人化が必要となってくるが、公費を投入して運営するとなると、慎重にならざるを得ない。



ひばり野公園サッカー場

法人化によるスポーツクラブが自主運営していくためには、参加会員からの会費、スポンサー企業、個人からの寄付、自主事業による営利収入が必須の条件となる。この条件をクリアした後に、スポーツ基金の設立を考えていくことになるかと思う。

現状では、財政的に自立しながら自主運営することは、至難の業であると考えている。

◆五戸高校が廃校後のスポーツ施設を、県からの指定管理を受け活用しては

教育長 県からの照会があった場合検討する

質問①

3年後に五戸高校の廃校が後に決まっている。スポーツ施設(グラウンド・体育館・合宿所)を、廃校と同時に活用するため、青森県から指定管理を受け活用してはどうか。

答 柳町教育長

青森県では、県有財産の取り扱いについて、青森県公共建築物利活用方針に基づいて決定される。当町が、五戸高校のスポーツ施設を利活用するためには、県で利活用しない旨の方針が決定された後、施設の所在自治体に照会があった場合、県

立施設の指定管理という形態ではなく、財産の買い取りという形態で取得し、利活用していくこととなる。今後、県から照会があれば、買い取り額・施設保有維持管理・町民の意見をふまえて、スポーツ振興の観点から総合的に判断する。

◆第80回国民体育大会サッカー競技に係るひばり野運動公園の整備は

教育長 公認を受けるため、多額の整備費が必要

質問①

第80回国民体育大会サッカー競技場に係るひばり野運動公園の整備について伺いたい。

答 柳町教育長

全国大会規模のサッカー競技を行うためには、日本サッカー協会からの公認を受けなければならぬ。公認を受けるために、人工芝の張り替えを行わ

なければならず、整備費として、2億1千万円の費用がかかる見込みである。国・県からの関連予算措置を活用しながら、整備していく。

一般質問



たかやま こうじ 議員
高山 浩司

◆消費税増税に対する町長の考えは

町長 増税はやむを得ない

また、増税分の使い道は、幼児教育・保育無償化、医療や介護、年金といった社会保障費に充てられるため賛成である。

質問②

過去に2度、消費税を増税し、直近の数年間には増税した分の税収が増えているが、景気の悪化により、全体の税収としては増えていない。

また、景気悪化の影響から、就職難による非正規雇用者の増加、年間の自殺者数3万人、中高年層のひきこもり者数61万人という原因を生み出していると考えられる。それでも消費税増税に賛成か伺いたい。

答三浦町長

景気を悪化させているという部分はあるかと思うが、増税には賛成である。

その分、政府には景気対策をしっかりとやってほしい。



コミュニティバス回数券

◆通学路の危険個所の点検状況は

教育長 年度当初に総点検を行っている

質問①

児童・生徒が通学する途中で、車に突っ込まれ、負傷したり亡くなったたりする事故が多発している。通学路の危険個所の点検はどのようになっていくか。

的に合同点検を実施している。また、各学校においては、年度当初に通学路の危険個所の総点検を行っている。

随時、学校や保護者、交通安全関係団体に情報提供を求めており、その結果を基に、関係者と連携調査を行い、対策を講じていくことが重要であると考えている。

答柳町教育長

町建設課、教育委員会、管内小中学校、五戸警察署、三八地域民局地域整備部の関係者が、定期

答三浦町長

今年5月末現在で、延べ175人となっている。

質問①

ほぼ毎日のように、高齢の運転者が絡んだ痛ましい交通事故のニュースが報道されている。

町では、70歳以上の高齢者が、運転免許証を返納した場合、1万円分のコミュニティバス回数券を交付する事業を行っているが、これまでの実績と周知方法は。

答服部総務課長

町の広報等への掲載や、警察署の方に、免許更新の際は、当事業の説明をして頂くようお願いしている。

答三浦町長

近年の社会保障費の伸び率を考慮すると、増税はやむを得ないと考えている。



五戸地区議会議員研修会

平成31年4月25日、五戸町(アピル五戸)にて五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成されている五戸地区議会議員の研修会が開催され、五戸町議会議員は12人が出席しました。

講演 「子どもの命を守る取り組み」

講師 五戸町役場 健康増進課 課長 晴山 正子 氏



町村議会広報研修会

令和元年5月22日、青森市において議会広報を作成するための研修会が開催され広報常任委員3人が出席しました。

講演 (1)「広報紙制作のスキルポイント」

(2)「町村議会広報クリニック」(東北町議会だより、ひがしどおり議会だより、さんのへ議会だより、いまべつ議会だより、いたやなぎ町議会だよりの5紙を取り上げ、紙面編集の指導が行われました)

講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏



編集後記

令和元年6月26日をもちまして、三浦正名前町長が御退任なさいました。五戸町・倉石村の2町村で、青森県第1号の合併を果たされたことをはじめ、各災害に立ち向かい、財政健全化を成し遂げられたことに、深く敬意の念と感謝を申し上げます。最後までなりました6月定例会で、三浦正名前町長が退任のあいさつをされた後、満場の拍手で無事終了し、議場全体が晴れやかな雰囲気となりました。その場に参加できましたことに感謝するとともに、今後の町政へ携わっていくことに襟が正される思いです。

若宮佳一新町長の町政のもと、今後とも開かれた五戸町議会となるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

委員 柏田 匡智

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月5日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和元年10月発行予定です。

発行責任者
議長 長 大 沢 博
副委員長 川 崎 洋 夫
委員 長 豊 田 孝 夫
委員 長 柏 田 匡 智
委員 員 鈴 木 隆 也
委員 員 大 久 保 和 夫
委員 員 高 山 浩 司
委員 員 尾 形 裕 之

広報常任委員会